

平成27年2月4日

もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	県央県土整備事務所	氏名	川合 葉子
派遣先 団体名	美郷町比之宮公民館(比之宮交流センター)		
<p>①研修の日時・②研修の内容</p> <p>【6月24日(火)18:45~21:15】 比之宮地区盆踊り実行委員会(第1回)(比之宮公民館) ・盆踊り実施(8月14日)について、自治会・地域団体代表の方々の協議に同席</p> <p>【6月27日(金)19:00~21:30】 比之宮連合自治会保健福祉部会(比之宮公民館) ・美郷町の健康づくりの取り組みについての講演会 ・敬老会実施(9月21日)について、自治会等の保健福祉担当者の方々の協議に同席</p> <p>【7月10日(木)19:00~21:30】 第1回比之宮地区敬老会実行委員会(比之宮公民館) ・敬老会実施について、自治会・地域団体代表の方々の協議に同席</p> <p>【8月14日(木) 8:30~22:00】 サマーフェスティバルin蟠龍峡(蟠龍峡公園) ・地域のボランティア有志により開催される夏祭りにスタッフ(司会進行役)で参加 比之宮・笹目地区盆踊り ・盆踊り大会にスタッフ(総合受付担当)で参加(比之宮町民広場)</p> <p>【9月9日(火) 8:30~17:15】 敬老会実施準備作業(比之宮公民館) ・公民館事務室で事前準備(プログラム作成等)を行う</p> <p>【9月19日(金) 8:30~15:15】 敬老会実施準備作業(比之宮公民館) ・公民館事務室で事前準備(配布物作成等)を行う ・地区内の自治会長宅への文書配布に同行</p> <p>【9月21日(日) 9:00~15:00】 比之宮地区敬老会(比之宮公民館) ・敬老会に写真撮影等運営スタッフで参加</p>			

【11月28日(金) 13:30~15:30】

もっと現場を知る研修のまとめ(比之宮公民館)

・職員さん(交流センター長・公民館主事)と研修の感想(参加者・受け入れ側)、今後の職員派遣研修に求めること等意見交換

③ 研修の感想

〔はじめに〕

美郷町比之宮地区は島根県の中山間地域227地区の中でも特に地域活動が活発で先進的な取り組みをされている地区だという印象を持っており、今回研修参加が決まった時には、地域運営の担い手、地域の特色等、地域運営のしくみについて勉強させていただきたいと思っていました。

研修先の美郷町比之宮公民館(兼:美郷町比之宮交流センター)は役場の出先機関の役割も兼ねた地域運営の拠点といえる場所であり、事務室の行事予定表には様々な活動予定がびっしりと書き込まれ、そこからも地域活動が活発であることが覗えました。その活動の事務局を一手に担い多忙な中、長畠交流センター長(公民館副館長)と桐場公民館主事さんのお二人が私の研修を担当してくださいました。

研修生としてどのようなことに関わらせていただくのかを事前の打ち合わせの際に相談し、みなさんと一緒に地域活動に携わらせてもらいながら、地域運営の仕組みや中山間地域の課題について勉強させてもらいたいという私の希望を聞いてもらい、8月の盆踊り、9月の敬老会の準備段階から実施まで体験させてもらうことになりました。

研修生として受け入れていただくにあたり、地区の広報誌に顔写真入りの紹介文を掲載していただいたり、各種会議で自己紹介の機会をいただいたおかげで、地域みなさんに顔を覚えてもらったり声をかけてもらったりと、スムーズに受け入れてもらえる環境を整えていただきました。このことから、比之宮地区での地域資源を活用した地域活性化等に取り組む「地域おこし協力隊」の活動、田舎ツーリズムでの都会地の子どもの受け入れ、大学生の校外学習での長期滞在等、地域間交流の盛んな地域であるということが実感できました。



【公民館に掲示してある活動記録】



【公民館職員さん作成により毎月月発行される広報誌『比之宮瓦版』(B4両面)】

広報誌は地域のシンボルカラー「若草色」で統一されています

〔盆踊り・敬老会の実行委員会〕

研修が始まり、盆踊りと敬老会の実行委員会等打ち合わせに3回同席させていただきました。ここでまずびっくりしたことは、会議出席者の多さです。人口約270人の地区で、各役員約30人のほとんどが打ち合わせの段階から参加されるのです。そして会議は、連合自治会長の挨拶にはじまり、昨年度の反省、今年度の内容検討、後継者の育成等議題は続き、みなさんが次から次へと発言されます。毎年開催しておられる行事なのだから定例的な会議かなと思っていた私にとって、活発な(白熱した)意見交換は予想外の場でした。

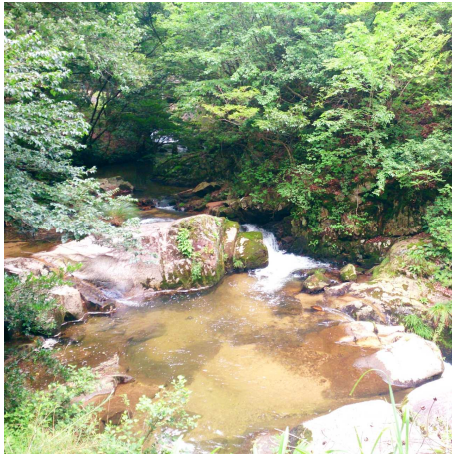
特に敬老会の打ち合わせでは、お招きする高齢者の方を地区全体でもてなし祝いたいという気持ち、これまで地域を支えてくださったことへの感謝の気持ちが伝わってきました。

〔サマーフェスティバルin蟠龍峡・比之宮・笹目地区盆踊り〕

景勝地蟠龍峡で開催される夏祭りは、地区の青壮年有志(蟠龍倶楽部・フレンド比之宮)主催の帰省客も毎年楽しみにしておられる恒例のお祭りです。当日は、毎年作っておられるお揃いのスタッフTシャツを着て、準備から片付けまでスタッフ体験をさせていただきました。

ここでも地域の団結力にびっくりです。機材搬入や神楽舞台設営、バラエティに富んだ飲食店の出店等、全てを有志の方々が手際よく進めていかれ、しかも自分たちもその場を楽しんでおられ

る姿が印象的でした。



【蟠龍峡】



【歴代のスタッフTシャツがなびく祭会場】



【鮎のつかみ取りに夢中な子どもたち】



地区のイメージキャラクター「ばんりゅうくん」



【地域おこし協力隊さんによる蟠龍そうめん流し】



【話題の！ポポーゼラートの販売】



当日私は急遽司会進行役を仰せつかり、慣れないながらもなんとか任務を完了しました。

←美郷町のゆるキャラ「みさ坊」とのじゃんけん大会の様子。

ゆるキャラグランプリ、みさ坊に投票してくださいね♪

夜は祭りの会場を比之宮町民広場に移動して、盆踊り大会が開催されました。音楽が流れ出すと高齢の方も若者も子どもたちもみんなが輪になって、何巡も楽しそうに踊っておられます。私は受付対応しながら、隣の方からこの踊りはいつの頃に取り入れられたとか、若い頃からこの日が楽しみでしかたなかったとか、盆踊りへの並々ならぬ想いを聞かせてもらいました。盆踊りの輪の様子はノスタルジックで、ここが私のふるさとなのではないかと思ってしまうような温かい雰囲気にも包まれていました。

.....

【敬老会準備作業、敬老会当日】

敬老会に向けて公民館事務室でプログラムの作成や参加者のとりまとめ等の事務を2日間担当させてもらい、当日は写真撮影係で参加しました。敬老会は地区の一大イベントだと聞いていましたが、参加招待者約60名、スタッフ約100名と地区の半数以上が参加と知ってまた驚きました。その上、祝賀の余興として各団体さんが舞踊やダンスを10演目も披露されるのです。その余興は毎年事前に練習を何度も重ね当日を迎えられるほどの力の入れようです。

当日は、受付開始時間よりかなり早くから高齢者の方が公民館に集まれ、この日を楽しみに待っておられたことがうかがえました。スタッフは会場の飾り付けや料理の準備を生き生きとしておられ、地区全体で敬老会のお祝いをする雰囲気がひしひしと伝わってきました。

舞台での余興も各団体練習を重ねられたさすがの出来で、会場はとても盛り上がりました。

閉会后、高齢者のみなさんは楽しい時間を過ごせたことのお礼を言われ、笑顔で帰って行かれる姿がとても印象的でした。



【比之宮連合自治会 福島会長のあいさつ】



【美郷町長祝辞】



【会場を沸かせたアトラクションの数々】

〔敬老会番外編〕

敬老会会場にテレビ番組『ガイアの夜明け』の撮影スタッフの姿がありました。

比之宮地区では、地域おこし協力隊が中心となり、地域に自生するポポーという珍しい果物で地域を活性化させようと「FAAVO(クラウドファンディング)」も活用した新しい取り組みが始まっています。敬老会では、そのポポージュラートが振る舞われ、その様子が昨秋テレビで放映されました。



【敬老会でのポポージュラートの紹介・撮影風景】



【ポポーのPR画面・ちらし】

<https://faavo.jp/shimane/project/122>



.....

〔研修をふりかえって〕

研修の終えるにあたり、研修期間中お世話になった長嶋センター長さん、桐場主事さんに研修期間中に感じたことをお話し、お二人に伺いたかったことをお聞きする時間をとっていただきました。

研修前から地域活動が盛んな地域だという印象を持っていましたが、多様な主体がそれぞれ地域に密着した活動を積極的に行っておられるのは想像以上でした。何より地域の団結力がとても強く、そして地域外の人との交流を様々な形で続けておられるのがこの地域の活力に繋がっているのではないかと感じました。

その地域活動の原動力となっているのが、公民館・交流センターの場の存在であり、長嶋センター長さんと桐場主事さんの事務局のマンパワーの存在なのだと思います。公民館で事務作業をしている間も、役場の出先機関を兼ねる公民館にはひっきりなしにお二人を訪ねてお客さんが来られます。そんな中でも、会議や行事の準備や魅力的な広報誌の編集等に取り組んでおられる姿を間近に拝見し、場所は違えど公務員としてサービス業に携わる者として気持ちを新たにしました。

そんな活力ある比之宮地区にも課題はあります。その課題を地域・町と連携しながら解決する取り組みを始め、他の中山間地域へも波及させていくことが必要だと感じています。

最後になりましたが、研修生として快く受け入れてくださった比之宮地区のみなさま、大変お世話になりありがとうございました。この研修で体感させていただいたことをこれからの職務に活かしていきます。また、これをご縁に、これからもお付き合いいただきますよう、よろしく申し上げます。